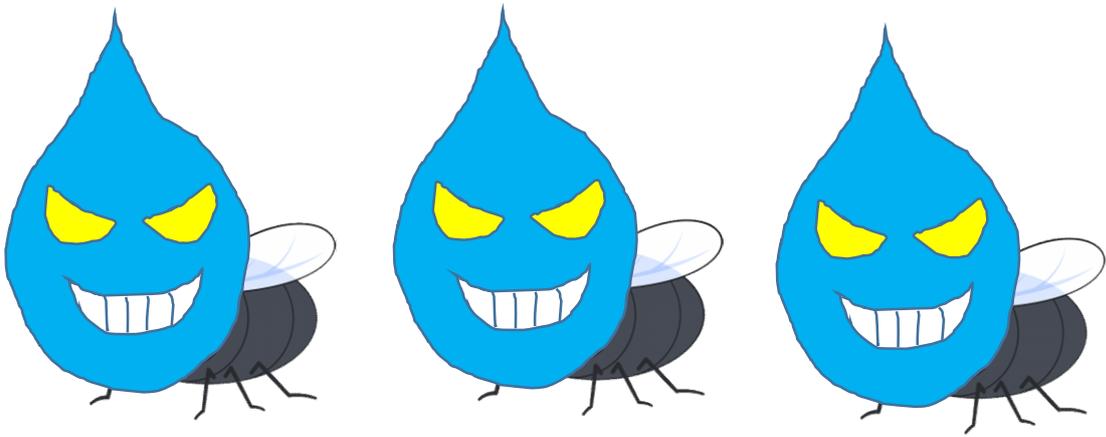


令和6年度から開始する

# ごみダイエット大作戦 水切り集中プログラム

～徹底的に水分を撃退せよ！～



スイブンブン



ネンショータ

VS



シボルンジャー

# 何故いま水分対策が重要なのか？

現在、ごみ処理の大きな課題になっているのが、燃せるごみに含まれる水分の多さです。横須賀市とのごみの広域処理において、燃せるごみはエコミルで焼却していますが、横須賀市のごみと比べると三浦市のごみは燃えにくいと言われており、焼却効率を良くするために、三浦市として積極的にごみの水分対策に取り組んでいく必要があります。

市民の皆様だけでなく、市内事業者の皆様におかれましても、改めて生ごみを捨てる時の水切り徹底、生ごみ処理器の活用など、水分を減らす取組にご協力をいただきますようお願いいたします。

## 1 水切り駅前キャンペーン

事業内容	燃せるごみの水分対策の重要性を市民の皆様にご案内いただくために、市長を先頭に職員が一丸となって駅前キャンペーンを実施します。京浜急行の三崎口駅と三浦海岸駅において、降車客が多い18：30～19：30に行います。													
														
予定	取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	事前準備	○				○				○				
	駅前キャンペーン実施		○				○				○			

## 2 水切り広報活動

事業内容	燃せるごみの水分対策の重要性を市民の皆さまに広くお知らせするために、各種媒体を活用して広報活動を行います。①広報紙「三浦市民」、②ホームページ、③LINEを活用した情報発信、④ごみステーションチラシ、⑤収集車アナウンス、⑥区長会回覧、⑦イベント啓発ブース、⑧環境学習、⑨啓発用動画。														
															
予定	取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	①「三浦市民」への掲載			○				○				○			
	②市ホームページの広報		—————→												
	③市LINE公式アカウントの広報						○								
	④ごみステーションチラシ掲示						適宜実施							→	
	⑤収集車アナウンス										○	○	○		
	⑥区長会回覧						適宜実施							→	
	⑦イベント啓発ブース出展	○													
	⑧環境学習（出前授業）						○	○	○						
	⑨啓発用動画の公開						—————→								



### 3 生ごみ処理器(キエーロなど)の普及

事業内容

燃せるごみの水分対策において、水分の元となる生ごみの排出量を削減することに直結する家庭用生ごみ処理器を普及させることは、大変有効であるため、積極的なPRを行い生ごみ処理器の普及を目指します。生ごみ処理器の購入費補助金制度や電動生ごみ処理機レンタル事業のPRを、水切り説明会やイベント等を通じて行うほか、生ごみ処理器利用者の交流会を開催し、生ごみ処理器を普及促進するための意見をいただき、今後の普及プログラムに反映させます。



予定

取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
イベントや説明会によるPR	→											
生ごみ処理器購入費補助制度	→											
電動生ごみ処理器レンタル事業	→											
キエーロモニター交流会の開催				○								

### 4 朝活で水切り

事業内容

燃せるごみの収集曜日に、職員がごみステーションを訪問し、ごみ出しに来られた市民の皆様へ直接、生ごみの水切りについて協力をお願いさせていただきます。収集員から各ステーションの状況を聞き取り、その情報を基に優先度を付けて訪問プランを立てます。



予定

取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
訪問プラン作成	→											
ごみステーション訪問	→											

### 5 水切り説明会

事業内容

廃棄物減量等推進員等、各区の役員と調整して、市内全53区を1年間をかけて訪問し、水切り説明会を開催します。燃せるごみの水分対策について、その必要性と目標に向けた市民の皆様への協力依頼を丁寧に説明させていただきます。



予定

取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
各区役員との調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
説明会開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 6 事業系生ごみ対策の検討

事業内容

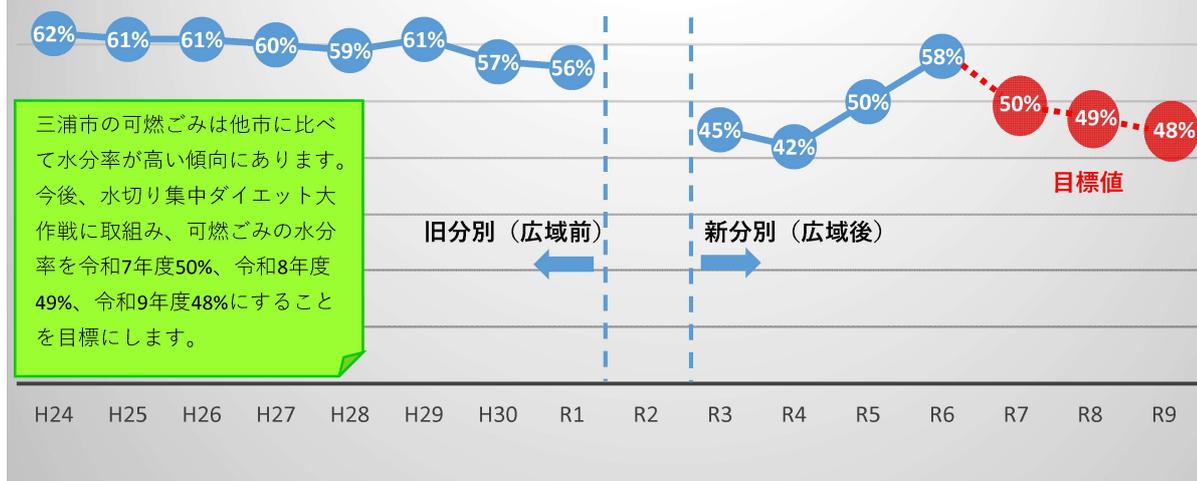
市内事業者が排出する生ごみは、そのほとんどが事業系一般廃棄物として環境センターに搬入され、市が処理を行っています（横須賀ごみ処理施設エコミルで焼却しています）が、事業系の生ごみは、家庭から出される生ごみと比べて水分が多いため、何等かの対策が求められており、三浦市の実情に即した効果的な対策を検討する必要があります。



予定

取組項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
事業系生ごみ実態調査	○	○	○									
民間処理事業者ヒアリング・視察		○	○									
事業系生ごみ処理方針の検討	→											

## 可燃ごみ水分率の推移と今後の目標



### ごみダイエツト大作戦水切り集中プログラムの策定にあたり

市民の皆様、日頃よりごみの適正分別をはじめごみの減量化及び資源化の促進に向けた、本市の廃棄物行政にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和2年3月からスタートした横須賀市とのごみ処理広域化は、現在5年が経過しようとしています。現在まで安定的に処理を行うことができています。しかし、広域処理の開始当初、三浦市の可燃ごみの水分率は50%を下回りましたが、またここに来て少しずつ上昇傾向にあります。水分率が上がると焼却効率が低下し、焼却処理コストが余計にかかるだけでなく、CO2の排出量増加にも繋がってしまいます。将来に向け、より安定的な処理を目指すためには、三浦市として燃せるごみの水分対策に努めていく必要があります。

そこで、この度三浦市は、可燃ごみの水分対策に特化した「ごみダイエツト大作戦水切り集中プログラム」を策定いたしました。令和7年度の1年間で水分率を50%以下にすることを目標とし、集中的に当大作戦に取組んで参ります。目安としまして、各世帯で一日当たり約70g(1食あたり約24g→スプーン2杯程度)の水切りをしていただくと、目標の水分率50%以下になる見込みです。市民の皆様、事業者の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

なお、これまで実施してきた「ごみダイエツト大作戦アクションプログラム」は令和7年度以降も継続して取組んで参ります。

令和6年12月  
三浦市長 吉田 英男

